



# 東都大学図書館通信

(沼津キャンパス第2号)

新入生の皆さん、大学生活には慣れてきましたか？そして先輩になった2年生の皆さん、日々の授業の忙しさを感じている頃ではないでしょうか？毎日皆さんを見ていると青春時代を思い出し、懐かしさとともに青春ド真ん中である皆さんを、身近に感じる事が出来て本当に嬉しく思います。図書館通信も学生の皆さんにとって、いつも身近な存在となれるように、楽しんでいただける内容をお届けしたいと思います。図書館通信も、皆さんの青春もまだ、始まったばかりです！ともに謡歌して下さい。

では梅雨も明けたところで、沼津キャンパス 図書館通信第2号開幕です！

## 第2号 CONTENTS

- ★新生活にこの1冊…女子の人間関係
- ★教員のオススメ本…基礎分野領域 神野英明先生
- ★特集：沼津キャンパスは、昔ホテルだった！？…～ホテル沼津キャッスルについて～その①
- ★図書館からお知らせ…図書リクエスト受付けます！ 国試コーナー ボランティア大募集！・夏季特別貸出
- ★あとがき 次号予告



## ～新生活にこの1冊～

新入生の皆さん、GWも終わり、学生生活本番となります。また2年生の皆さん、入学して1年が過ぎ、大学生活に慣れてくる頃ではないかと思います。そのような中で、親友関係などに悩んでいる方も、いるのではないでしょうか？看護学科は、どちらかと言えば全国的にも女子の比率がまだ多いようです。高校と違い、「大学で女子だけになってしまった！」とお悩みのそこのあなた、いい本ありますよ！

その本のタイトルはその名もズバリ！「**女子の人間関係**」です。女子ばかりの人間関係に疲れてしまった、少々面倒だな、と感じた時の対処法がお悩み別にわかりやすく書かれています。そして、女子が多数いる環境に身を置く**男子**こそ、読んでもらいたい1冊もあります。きっと看護師になった時に役立つかかもしれません。もちろん気になる女子から相談された時のために読んでおいてもいいでしょう。いいアドバイスが出来るかもしれませんよ。お悩み中の方々が、この本を通して少しでも気持ちが楽になり、前向な気分で充実した学生生活を送ってもらえばと思います。でも、女子ばかりの環境でも楽しい事は山ほどあると思いますけどね。



『女子の人間関係』-整理整頓-  
著者 水島広子 サンクチュアリ出版  
※この本は沼津キャンパスに所蔵があります。  
請求番号：361・4/M



## 教員のオススメ

### ワトソン看護論

～ヒューマンケアリングの科学～

この本は、沼津キャンパスに所蔵があります。

請求番号：492・9/W

『ワトソン看護論』

ワトソン・ジーン著

医学書院

「読めば読むほど、読んでない本が増えてくる」

基礎領域 神野英明

私の学生時代の恩師が、「本は読めば読むほど、読んでいない本が増えてくる」と述べられたことを今も鮮明に覚えています。ヒューマンケアを志す看護学生なら、一度はJ.ワトソンの『ワトソン看護論』（医学書院）を手にして欲しいと思います。ただし、この本を一読しただけで著者が提唱するヒューマンケアリングとは何かを理解することは非常に困難でしょう。ワトソンは同書の第1章において「伝統的科学」と「ヒューマンケアリングの科学」の相違点を示し、常にその違いを検証し続けることの必要性を強調しています。前者は客観的世界を前提としたモノの理解の方法である伝統的な「自然科学」、後者はヒューマンケアリングの対象である人間の理解を目指す「人間科学」の方法論です。人間科学の方法論については、ワトソンが直接指導を受けたA.ジオルジの著書『心理学の転換』が参考になります。同書では心理学研究におけるパラダイム・シフトの流れが記述されていますが、パラダイムの転換について理解を深めるためにはT.クーン『科学の構造』が役に立ちます。また、自然科学と人間科学の違いを理解する上で、中村雄二郎『臨床の知とは何か』が大きなヒントを与えてくれるでしょう。ここで述べられている「科学の知」を自然科学、「臨床の知」を人間科学に当てはめて読み進めると一筋の光が見えてくるはずです。

ジオルジの提唱した「人間科学」の概念は、S.シュトラッサーの『人間科学の理念』にその源流を見て取れます。シュトラッサーはE.フッサーから現象学を学びました。自然科学的方法で人間の「生きられた世界」にアプローチしようとする学問の風潮に対し、フッサーは「人間の生を適切に扱うことができなくなってしまった」と憂い、『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』を著しました。そこに入れられた「危機感」こそが、自然科学的方法論にかたよった看護研究に対してワトソンが感じた違和感に通底するものと言つていいでしょう。ジオルジは元々、自然科学的方法論をベースとした実験心理学を学んでいましたが、デュケイン大学に赴任して本格的に現象学を学ぶ機会に恵まれました。彼は当時オランダの現象学のメッカと評されたライデン大学から招聘された現象学派の医師J.H.ヴァン・デン・ベルクから実践的現象学の方法論を学びました。ヴァン・デン・ベルクの著書『病床の心理学』は「現象学的記述」の具体的方法を理解する上で参考になります。ワトソンと並んで現象学的看護学者として著名なR.パースィもデュケイン大学看護学科の卒業生です。後に母校ディケイン大学の教授となったパースィのもとで現象学的看護学を学んだ高橋照子による邦訳書『パースィ看護理論』を読めば、ワトソンにも共通する自然科学的医学モデルへの違和感がよりいっそう鮮明になるでしょう。

ここで紹介した文献を精読して再び『ワトソン看護論』をひもとけば、そこには違った世界が広がってくるに違いありません。

(本稿は深谷キャンパス図書館通信第118号に掲載された記事を一部改編したものです。)

## 特集：東都大学沼津キャンパスは昔ホテルだった！？… ～ホテル沼津キャッスルについて～その①

皆さん、学んでいるこの沼津キャンパス 実は元ホテルだったとご存知でしょうか？

ホテル沼津キャッスルは、1983年(昭和58年)に沼津市初のシティーホテルとして創設され、その歴史は古く、調度品などは高級な物が多く、皆さん何気に使用しているその椅子も実は骨董品並みのお値段だったりするかもしれません。94年4月には、天皇皇后両陛下（現上皇ご夫妻）が、静岡県を訪問された際、昼食のため立ち寄られたようで、その時に使用された食器や茶器などは大切に沼津キャンパスに保管されています。結婚式をここで行ったという沼津キャンパスの教員もいるくらい、地域にとても愛されていました。ホテルは2020年コロナ禍の影響により、多くの市民に惜しまれつつ、38年の歴史に幕を下ろし2020年4月で閉館となりました。その後、東都大学沼津キャンパスとなり、今皆さんの学び舎として活躍しています。元ホテルを使用して作った大学も図書館も日本で初めてではないかと思われますが、もし他にも、そのような大学があったら、是非とも図書館までご一報ください！

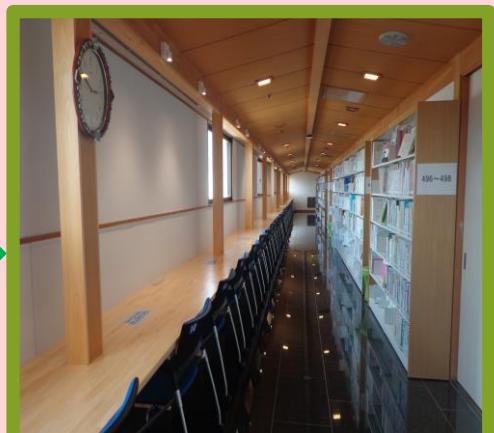
### ホテル沼津キャッスルから東都大学沼津キャンパスへの道のり

図書館の開架閲覧室は、昔は結婚式場の参道でした。大変おめでたい場所だったのです。またグループ閲覧室は神前式場でした。図書館閲覧室の壁の斫（はつり）（コンクリートを削る・壊す・切るなどの作業）が大変だったようです。



沼津キャッスル時代

図書館開架書庫



東都大学沼津キャンパス



沼津キャッスル時代

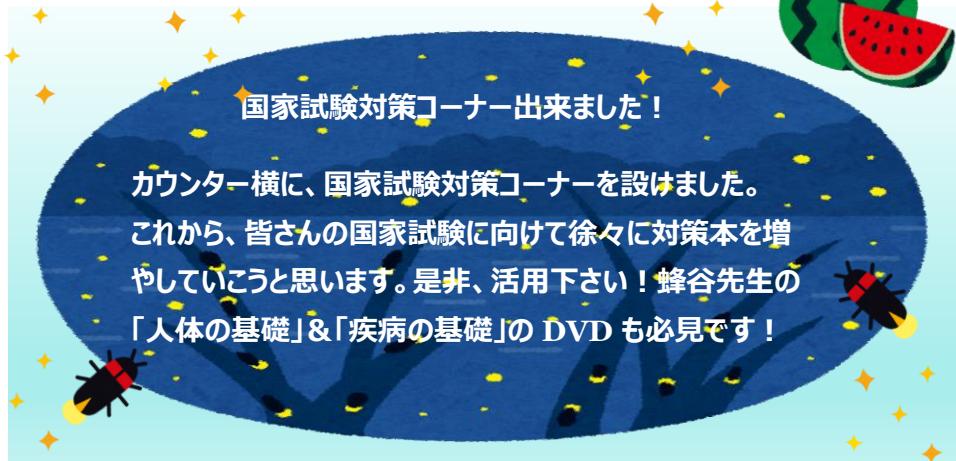
グループ閲覧室



東都大学沼津キャンパス

## ～図書館よりお知らせ～

図書購入希望（リクエスト）受け付けています！リクエストした本が必ず購入されるとは限りませんが、学生の皆さんのお声をなるべく反映していきたいと思っています。皆さんの図書館です。希望があれば、遠慮なくリクエストして下さい。希望の方はカウンターの「図書購入希望申込書」に記入してカウンターまで。絶賛お待ちしております！



### 図書館ボランティア大募集

図書館のお仕事に興味のある学生の皆さんに朗報です！図書館ではボランティアを大募集しています。夢は看護師だけど、他の仕事の世界もこの機会に覗いてみてはいかがでしょうか？ボランティア活動に参加された学生には、もれなくレア過ぎる参加賞差し上げます！気になる方はカウンターまで。

### 夏季特別貸出のご案内

図書館では、夏休み期間中に併し、夏季特別貸出を実施いたします。  
開始期間：7月27日（水曜日）  
返却期限：9月30日（金曜日）  
貸出冊数：7冊まで

是非、ご利用下さい！

### あとがき

今月の図書館通信いかがだったでしょうか？試験も終わり、夏本番を迎えますね。次号も盛沢山の内容でお届けいたします。夏休み期間中も図書館は開館しています。読書に 勉強に 待ち合わせに図書館を多いに活用して下さい。そして学生の皆さん 体調に気を付けて、いい夏にして下さいね。次回の図書館通信は秋頃の発行です！

### 次号予告！（11月発行予定）

#### この1冊コーナー

特集 東都大学は、昔ホテルだった！？その②  
教員のオススメ本コーナーなどなど  
次回もお楽しみに！！！

【創刊号】2022年7月1日 発行

【発行者】東都大学沼津キャンパス 図書館運営委員会

【編集協力】松田正己 中野禎久 玉城紫乃

【編集】沼津分館司書 中山祐子

